

広島県 × 県立広島大学大学院経営管理研究科(HBMS・MBA) 連携企画

アグリ・フード マネジメント講座～ひろしまファーマーズテーブル～ 農の経営戦略を考える講座を10月8日(火)に開講します！

今年度からの新たな講座として、「アグリ・フード マネジメント講座～ひろしまファーマーズテーブル～」を開講いたします。

この講座は、広島県と県立広島大学大学院経営管理研究科(HBMS)が連携して、計16回(60時間)の講義を行い、新たなアグリ・フードビジネスを創造する人材の育成を目指します。

講座は4つのターム、「フードシステム」「最先端技術」「マネジメント」「多様な連携」に分かれ、各課題に取り組む先端的な経営者による講義をとおして、自らの経営感度を深め、未来の農業経営を開拓・創造する力をつけることを目的にしています。各回とも、本講座の総括を行う本学の教員がマネジメントの基礎や経営のエッセンスを抽出し、受講者と講師によるディスカッションやワークショップによりMBAの講義スタイルを積極的に導入していきます。ぜひ、開講初日の模様について、取材いただきますようお願いします。

1 講座の概要

開講時期：令和元年10月～令和2年1月

(各月；平日3時間×3日、土曜日6時間×1日、計16日開講)

会 場：サテライトキャンパスひろしま

(広島市中区大手町1-5-3 広島県民文化センター5階)

受講者数：15名(農業者及び他産業従事者)

講座内容：別紙パンフレットのとおり

2 開講式等のスケジュール (令和元年10月8日)

18:00 開講式

広島県農林水産局長あいさつ 上仲 孝昌

県立広島大学学長あいさつ 中村 健一

受講者自己紹介

18:20 講座 第1ターム 生産者と消費者をつなぐフードシステム

1日目 農と食のマーケティング

オリエンテーション・講義

「農業に求められるイノベーションとファーマーズテーブル」

(県立広島大学大学院経営管理研究科 吉川 成美 准教授)

・消費者の生活の変化と農産物の購入方法の変化について

実践例紹介(マックスバリュ西日本(株))

・小売りの現場で求められている農産物について

ディスカッション

・「お客様視点」から、今後どのような取組が求められるのか